

# 奈良県立磯城野高等学校 Flowers

高校生ボランティア・アワード2024

## いきものいっぱいならプロジェクト SDGs15 陸の豊かさを守ろう



奈良県には県立の自然史博物館や生物多様性センターがありません。いわゆる自然系の博物館は田原本町の隣の橿原市にある橿原市昆虫館だけです。奈良県全体を網羅するものではありません。そこで、私たちは「生物多様性の主流化」つまり「生物多様性を多くの人に知ってもらう」ために、私たちの学校が地域の「ミニ生物多様性センターになる」ことを目標に様々な活動を行っています。

### 活動のきっかけ

#### コロナ禍で校外で活動ができない...



2022年はまだコロナ禍で学校外の活動はあまりできませんでした。そこで、私たちは、校内でできることとして、「生き物調べ」を行っていました。名前が分かった生き物は774種でした。名前を調べるのは本当にたいへんでした。奈良生物多様性保全ネットワークに加盟している専門家にも何度も見ていただきました。これらの生き物のリストを「磯城野高校野生生物目録」にまとめました。リストは随時、更新を行っています。



奈良県立磯城野高等学校野生生物目録



学校そばの用水路での生き物調べ



一部は証拠として標本として保管

#### \*参考

- ・校内で見つかった奈良県レッドリスト記載種数 **29種**
- ・校内で見つかった国内外の外来種数 **198種**
- ・校内で見つかった奈良県野生生物目録未記載種数 **23種**

### 生物多様性の主流化 I

#### 蝶で田原本町の生物多様性をPR



学校のすぐ近くにある近鉄西田原本駅の花壇をバタフライガーデンに変え、蝶で田原本町の生物多様性をPRすることにしました。コストを下げるため、廃棄酒粕やミズ糞土、廃棄麻袋も活用しています。PR効果もあり、近隣の小学校2校と幼稚園3園・保育園5園にもバタフライガーデンを設置しました。蝶図鑑も配りました。



福祉交流/バタフライガーデンの整備



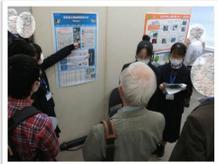
蝶図鑑も配付



近隣のお年寄りの方と一緒に



廃棄麻袋の利用



日本蝶学会会ポスター発表

#### お年寄りの健康増進！福祉交流花壇



コロナで休校になり管理が追いつかなくなった頃、お年寄りの外出が減り、健康が悪化しているという新聞記事を見ました。そこで、田原本町地域包括支援センターに相談したところ、お年寄りがよく散歩している早朝なら人が少ないので、きっかけを作れば、外に出てもらえるのではという話でした。学校近くのお年寄りの方を紹介していただき、事情を説明したところ、高校生のお願いならと快諾していただきました。ご家族の方からも毎朝張り切って水やりに行くようになり、弱っていた足腰も少しずつ良くなってきたとたいへん喜ばれていました。

田原本町と私たちで「地域ケア推進会議」を立ち上げ、私たちの福祉交流花壇をモデルとして、同様のものを町役場と社会福祉会館に設置し、それぞれ近くのお年寄りが管理を手伝うことで健康増進を目指していくことになりました。プレーヤーだけでなくコーディネーターも行っています。

### 奈良県立磯城野高等学校 Flowers



「いきものいっぱいならプロジェクト」の説明の動画  
コチラからどうぞ



連絡先  
〒6360300 奈良県磯城郡田原本町258  
TEL:0744-32-2281 FAX:0744-32-7265

Flowersはこの4月で結成7年目を迎えました。私たちの学校は農業科と家庭科のある専門高校です。最初のメンバーは農業科だけでしたので、どうしても農業で学んだことを活かす取組が多くなっていましたが、4年前から家庭科からメンバーが加わり、家庭科で学んだことも活かした取組も増えてきました。農業科と家庭科、それぞれが学んだことを活かすことで、活動もたいへん充実してきています。  
最近ではSDGsの視点から「しきのSDGsプロジェクト」として活動も増え、このポスターはその一部となります。  
現在のメンバーは3年生2名、2年生11名、1年生5名の計18名です。

### 生物多様性の主流化 II

#### 田んぼの生き物調べサポーター



昨年からは、県内4ヶ所の生き物調べも行いました。田原本町多地区・広陵町の場地区・山添村切幡地区の3ヶ所は子ども向け、残りの1ヶ所御所市は県レッドリスト改訂に向けた調査です。



田原本町多地区での生き物調べ



山添村切幡での生き物調べ



復活！田んぼの水族館-しきのサテライト-

#### 田んぼの水族館-しきのサテライト-



コロナ前に橿原市昆虫館で開かれていた田んぼの水族館を学校の中で復活しました。学校を訪れた子どもたちに大人気です。

### 生物多様性の主流化 III

#### 専門的な研究



##### ナガオカモノアラガイの生活史(奈良県絶滅危惧種)

校内に県下最大級の繁殖地があるので、奈良県における生活史の解明を目指しています。

##### コハクオナジマイマイの生活史(国内外来種奈良県初記録)

一昨年、奈良県で初めて見つけました。また越冬も確認していますが、越冬することは今まで知られていませんでした。近々、学会誌で発表します。

##### ナラノヤエザクラの挿し木繁殖

県内ではクビアカツヤカミキリやツヤハダゴマダラカミキリによるサクラの被害が進んでいます。天然記念物である知足院のナラノヤエザクラを守るため、できないとされている挿し木に挑戦しています。

##### 3倍体ヒガンバナの種子の稔性

3倍体と確認できた株から得た種子の発芽試験を行っています。先行研究には親株の染色体を調べていませんでしたので貴重な記録となります。



ナガオカモノアラガイ



ヒガンバナとコハクオナジマイマイ



クビアカツヤカミキリ



ナラノヤエザクラの挿し木の発根

### 私たちがミニ生物多様性センターになる



生き物調べから始まった私たちの生物多様性の主流化の取組は3本の柱から成り立っています。

私たちの先輩もSeedsというチームを作っています。

ともに奈良県で生物多様性の主流化を進めていきます。

他校にも普及ができれば、県立の自然史博物館や生物多様性センターがなくても大丈夫かも(あとは標本の管理だけが問題)